

2023年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞の公募

IAP 日本支部病理診断学術奨励賞選考委員長 長尾俊孝

下記の要領にて 2023 年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞を公募いたします。

記

賞の名称：IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞

応募資格：日本の医療機関に勤務する若手（論文掲載時 40 歳未満）の病理医。

IAP 日本支部の会員か否かは問わないが、会員であることが望ましい。

選考対象：2022 年 1 月から 12 月の間に雑誌に公表された診断病理分野における優れた英文論文 1 編。筆頭著者を原則とする。E-pub は含まない。ただし、留学先ではなく日本国内での研究論文のみ。

受賞者数：3 名以内

賞の内容：賞状と副賞（トロフィー）

応募方法

原則、他薦（自薦も可）とする。

申請時に必要なもの（すべて PDF ファイルとする）：

1. 応募者の履歴書（JIS 版）
2. 推薦書（推薦人がいる場合）または、応募理由書（推薦人がいない場合）
PDF ファイル 2 ページ以内とし、書式は問わない。
3. 論文（1 編のカラーPDF ファイルを提出）

1～3 を添付して下記のメールアドレスに送付する。

応募の締切：2023 年 ~~8 月 31 日~~ **9 月 15 日（金）まで延長しました**

宛 先：Email: pathol-1@tokyo-med.ac.jp

「IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞」選考委員会委員長 長尾俊孝 宛

選考方法・発表

IAP 日本支部が指名する「IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞」選考委員会（日本病理学会、日本臨床細胞学会からの外部委員も参加）において選考する。なお、受賞者を秋の IAP 日本支部病理学教育セミナーにおいて表彰する予定である。また、受賞者を IAP 日本支部の News Bulletin 紙上で公表する。